

科目番号 A13	保育実習Ⅲ	保育士資格取得のための必修科目	単位数： 2単位	担当教員名：飯尾 雅昭、農野 寛治 担当形態：クラス分け
科 目	(保) 保育実習			
施行規則に定める 科目区分又は事項等				
その他	年次：2年次	授業形態：実習	卒業：選択	幼稚園教諭：－ 保育士：選択

授 業 内 容	<p>「保育実習Ⅲ」は「保育実習Ⅰ」を踏まえ、保育士資格の取得に向けて、より専門的な学びを得る実習となり、自己の適性と卒業後の進路選択の資料を得る実習ともなる。</p> <p>この実習では、「保育実習Ⅰ」で学んだことをベースにしてさらに施設現場で経験する実務体験を通して学習を深化させ、保育士として必要な資質・能力・技術を習得することを目的に行う。</p> <p>子ども（利用者）のニーズの把握と個別理解に努め、施設養護の過程の実践を通して、個別支援計画の作成と養護実践が行えるよう課題意識を高めて応用できる力量を培う。併せて多様な養護ニーズに対応できる知識と技術、判断力を養うと共に実習を通して保育士の業務及び職業倫理を学ぶ。</p>
到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 児童福祉施設等（保育所以外）の役割や機能について実践を通して理解を深める。 2. 家庭と地域の生活実態にふれて、保護者・家庭支援のための知識、技術、判断力を養う。 3. 施設保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する。 4. 保育士としての自己の課題を明確化する。
準 備 学 習	<ul style="list-style-type: none"> ・1回生開講科目の「社会的養護」の単位を取得していること。 ・「保育実習指導Ⅲ」の出席状況・受講態度が良好であること。 ・各種別施設の特性を理解し、「保育実習Ⅰ」で修得した知識・技術をさらに応用できるよう準備する。 ・『保育実習の手引』により、授業で学んだことをしっかり復習しておく。
教 科 書	『保育実習の手引<福祉施設編>』（実習指導室発行）
参 考 書 ・ 資 料	必要に応じて資料などを適宜配布する。
評 価 方 法	実習への出席状況、実習態度、実習施設の評価（実習記録を含む）に基づき総合的に評価（可否）する。
特 記 事 項	